

第70回記念全日本東西対抗剣道大会概要

1 大会要旨

本大会は、往年の由緒ある大会を継承するもので、全国を東西に二分し、心技ともに円熟した剣士を選抜して格の高い剣技の範を顕示し、もって剣道の真価を示して一層の普及発展を図ることを目的としている。

2 大会名称

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会

3 主催 * 公益財団法人 全日本剣道連盟(以下「全剣連」という。)

主管 * 香川県剣道連盟

4 後援

香川県 高松市 香川県教育委員会 公益財団法人香川県スポーツ協会
四国新聞社 NHK 高松放送局 RNC 西日本放送 KSB 瀬戸内海放送
公益財団法人 OHK スポーツ振興財団香川 高松観光コンベンションビューロー

5 大会日程表

令和6年9月14日(土)

順序	項目	場所	時間割	所要時間
1	東軍練習	総合体育館第二競技場	15:50-16:40	0.50
2	西軍練習	総合体育館第二競技場	14:20-15:20	0.50
3	審判会議	総合体育館第一競技場	16:50-17:40	0.50

令和6年9月15日(日)

順序	項目	場所	時間割	所要時間
1	開会式	総合体育館第一競技場	9:30-10:00	0.30
2	日本剣道形	//	10:00-10:15	0.15
3	試合(女子9試合)	//	10:25-11:37	1.12
4	試合(男子31試合)	//	11:47-15:55	4.08
5	表彰及び閉会式	//	16:05-16:25	0.20

6 大会参加者(予定)

- (1) 大会役員 47名
- (2) 審判員 13名
- (3) 監督・選手 82名
内訳:監督2名、選手80名(男62名、女18名)
- (4) 県外来賓 30名
- (5) 県内来賓 8名
- (6) 県内役員等 250名

合計 433名

7 参観者(見込み)

約 1500人

8 大会実施要領

(1) 東西の分け方

ア 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。

イ 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

(2) 両軍の編成と選手の構成

【男子の部】

ア 監督:各1名 選手:各31名

イ 構成 ○ 大将・副将は、全剣連選手選考委員会で選考し選出する。

○ 3将～中堅は、教士八段受有者で年齢60歳以下の者。

○ 17将～28将は、七段受有者で年齢46歳以下の者。

○ 29将～先鋒は、六段受有者で年齢33歳以下の者。

(年齢の基準は大会前日とする。)

【女子の部】

ア 監督:各1名 選手:各9名

イ 構成 ○ 大将・副将 年齢50歳以上の者

○ 3将～中将 年齢40歳以上、49歳以下の者

○ 6将・7将 年齢30歳以上、39歳以下の者

○ 先鋒・次鋒 年齢20歳以上、29歳以下の者

(段位は制限しない)

(3) 監督・選手の選出方法

ア 監督は、全剣連会長が委嘱する。

イ 選手(大将・副将は除く)は、各都道府県剣道連盟から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。

この場合、若干の補欠を設ける。

(4) 審判員

審判長 1 名、審判員 12 名を全剣連会長が委嘱する。

(5) 組合せ

ア 組合せは、選手選考委員会で決定する。

イ 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能な場合は、補欠選手の中より充当する。

(6) 試合、審判規則及び試合方法

ア 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

イ 試合は、3 本勝負とし、試合時間は 5 分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、3 分の延長戦を 1 回のみ行い、先に 1 本取った者を勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとする。

ウ 試合は東西各 9 名の選手による、勝者数法とするが、勝者数、取得総本数共に同数の場合は、引き分けとする。

(7) 表彰

ア 優勝には賞状ならびに優勝旗、賞品を、準優勝には、賞品を授与する。

イ 優秀試合賞

格の高い且つ感動的な試合に対しては、選手双方に全剣連より賞状ならびに賞品を授与する。

ウ 優秀選手賞

全剣連より賞状ならびに賞品を授与する。